



# 国際室 だより

No. 41

## “22の瞳が語る日本と日本人”

沿海鉱物資源探査集団研修物語は 5月30日の開幕以来 各地で数々の名場面が演じられ はや5カ月の公演期間が経過しました。 現在 物語は終幕の場面で各研修員は個別にわかれ 各自選択したテーマに基づき個別に物語を演じています。 個別期間中にも多くの思い出深い名場面が演じられることと思いますが 名場面については別の機会に御紹介することとし ここでは来日後の11カ国 22の瞳に写った「日本と日本人」について御紹介いたします。

### 《地球の裏側から見た日本》



私は まさか自分の家からこんなに遠くに離れた地球の裏側で生活しようとは思ってもみませんでした。 多分 同じような経験をしたブラジルへの日本人移民の人々も遠路はじめてブラジルの土を踏んだ時 同じような思いをいただいたことでしょう。

日本は 何んと美しく すばらしい国民の国だ!! ここではすべてが私には印象深くうつります。 私の国では 日本は伝説に満ちた遠い島国として知られています。 これは2, 3世代前に移民した日本人々から得られた印象ですが 現在では日本人移民の人々ですら今日の日本を知る人は少ないようです。

東京について これまで私は 交通・住宅などの大都市に起りがちな問題をたくさんかかえた超人間過密都市であると想像していました。 しかし これは私の誤解でした。 Tokio は美しく 大きな通りが広がり 大変効率的な交通システム(何本もの地下鉄が地上の鉄道と結ばれている)が発達しています。 まさに地下鉄の駅は お天気の日でも決して空の明りを見ることのできない地底生活の場で いわば第2の地底都市のようです。

また 注目すべきことは 人々が緑を大切にしていることです。 どんな公園でも手入れがゆきとどき ほとんどすべての樹木には小さな名札がついています。 ま

た 地震がしばしば起るこの大都市に60階建の特殊な建物 数多くの高架橋 高架道があるとは驚きです。 他方 つくばは穀倉地帯の中に大きな道路が走り 美しい公園 モダンな建物が調和した夢の街です。 北海道は国立公園 自然森林がたくさんあり 自然保護がゆきとどいた模範的なところ。 ここでは人類の発展と共存する数種の自由な野生動物の活動を間近にすることができます。

一方 日本の人々は大変親切で “No” という言葉を習っていないように思えます。 また 大変礼儀正しくいつも笑顔で心よく手助けをしてくれます。 私がブラジルへ帰国したなら 私はきっと勉強のみならず違った観点から新しい簡素な生活方法を学んだ日本に対しホームシックになることでしょう。 そして 特に 日本に残してきた友達に対して “フレンドシック” になるのは確実です。

(マルコス・ブラジル)



私にとって今回が初めての海外生活であり 日本は私にとって最初の外国であります。 私は大変ラッキーだと思っています。 なぜなら日本は世界的に最も名高い国だからです。 日本に来て日本の文化・経済・社会情勢について見聞し 私は日本のすべてが好きになりすべてを称賛いたします。 すべてがすばらしい一言です。 7カ月の沿海鉱物資源探査研修の期間中、 私はここでの生活を十分に楽しむつもりです。

(モウ・ビルマ)



日本へ来てはほぼ3カ月になります。 現在 私は幸せな時を過しています。 日本について私はすべてのことが秩序正しく保たれている世界で最も美しい国のひとつだと思います。 私

にとって最も印象深いことは日本人々と交通です。日本人々は常に親切で礼儀正しく行く先々どこでもいつでも簡単に親しくなれます。また日本人は勤勉で良く働きすべてのことを真剣に要領良くこなしていきます。たとえば他の部所間との衝突もなしに実にうまく他の人と協力しあい協調的に物事を処理しています。また日本はほとんどの国において解決困難な交通の問題を実にうまく解決しています。現在交通網が国内の隅々まで発達しているのを見ることができます。来日以前に行って見たいと考えていたところへいつでもどこへでも簡単に行けるということは信じがたいことです。百聞一見にしかず!! ナイススピール ナイスカントリー

(ロン・中国)



キューバでは日本とその文化については地理的な距離にもかかわらず比較的良く知られています。多分その理由は特に最近20年における日本映画の上演によるものと思われま

す。このためキューバ人にとっては日本は驚くべき程の目新しい国ではありません。私個人の場合子供の頃の柔道の稽古が最初の日本文化との出会でありました。柔道の稽古で私は闘争心 体軀モラルの向上が計れるということが解りました。私が子供の頃最初に習った日本語の言葉と言ひ回しは “waza” “katame-waza” “nage-waza” “tatami” “sei-ryoku-zen-yo” “haraigoshi” “ippon” などでした。柔道の精神は私の生活すべての支えでありました。柔道の父 加納治五郎は小柄な人でした。彼は身心の鍛練方法を習得し最終的にはその最大効果を得るまでにいたりしました。多分最近の日本にはこの柔道の精神が少し薄らいできているようです。

私は日本へ来る以前に相撲のことについては多少聞いていました。ここへきて相撲の技・精神について更に深く知ることができました。外国人には相撲は巨人の真剣勝負のように見えます。実際に相撲はゲームというより生活そのものといった感じがします。今日のこの伝統的スポーツは日本の古い文化に由来し神道の屋根の下で2人の対戦者が珍しい踊り “pas de deux” を舞いそしてぶつかり合う前に3~4回両者は面と向い合います。日本に来て私は3人の “yokozuna” “Chiyonofuji” “Hokutoumi” “Ohnokuni” がいるのを知りました。もちろんハワイ出身の巨人 “Konishiki” もです。彼は将来最初の外国人横綱になるものと

期待しています。

また私はバレーボールが好きで長年日本女子チームの影なるアドバイザーでありました。東京オリンピック メキシコオリンピックで “東洋の魔女” と呼ばれた頃の日本女子チームのプレーは決して忘れられませんが。最近の日本チームのプレーはその当時のレベルより少し落ちているようです。しかし近い将来きっと彼女らは世界バレーボールチームの頂点に再び登りつめることでしよう。

最後に野球について私の国では日本のアマチュア野球については広く知られています。日本に来て以来私はいつもテレビでセ・パ両リーグのゲームを見ています。中でもピッチャーに強い印象を受けました。両リーグにおいて何人かのピッチャーは理想的な投球で145km以上の速球をうまく投げわけます。ジャイアンツの槇原 カープの津田 ホエールズの中山 バッファローズの阿波野 ライオンズの渡辺 オリオンズの小川などがそうです。また私は岡田(タイガース) 原(ジャイアンツ) 中村(ドラゴンズ) 伊藤(?)などのファンです。将来キューバのナショナルチームと日本のプロ野球チームとの対戦を見たいものです。私の好きなチーム? もちろんキューバです。

(ラファエル・キューバ)



私は1988年5月11日に日本へ到着しました。日本に滞在でき大変幸せです。日本の文化は大変すばらしく日本人々は親切でやさしくそして礼儀正しい人達です。日本人々は一生懸命働きながらも常に安全に気をつかいまた街村々の公園すべては清潔さ 美しさが保たれています。日本人はすばらしい。日本ではいかなる場所いかなる時でも常に高い安全性が保たれています。私はつくば市に滞在できてとても幸せです。この街は科学者にとってとても住み心地の良いところです。

一方研修旅行に関して北海道研修旅行は大変すばらしく特に夕張石炭博物館 北海道開拓記念館について強い印象を受けました。もちろん地質調査所の標本館もおとらずすばらしいものです。白嶺丸の乗船実習は大変興味深く有益でした。私はこの研修コースの最後まで日本の生活をエンジョイしそして将来いま一度日本を訪れてみたいものです。

(ヨハネス・インドネシア)